

手遊びで笑顔いっぱいの交流

第一児童館放課後児童クラブが施設を訪問

8月4日、第一児童館の放課後児童クラブに通う児童としろいし母親クラブ（佐々木とし子会長）の会員などが45人が介護老人保健施設清風を訪れました。この催しは、児童と高齢の方との交流を目的に、平成18年から毎年実施。児童たちが「白石うーめん体操」を披露したり、同クラブ会員が大型絵本・紙芝居の読み聞かせをしたりしました。その後は、児童と施設利用者がペアになり、手遊び「うちのこうんべいとうさん」や肩たたきで交流。施設利用者は「ばあちゃんの肩、よくなった。ありがとうね〜」「また来てね〜」と、笑顔で話し掛けていました。



▲施設利用者の前でうーめん体操を披露する児童たち

土手川をさぐれ！

白川小奥地区で「小川と仲良くなろう」

8月4日、白川小奥地区で「小川と仲良くなろう」（小奥環境資源保全隊主催、佐藤勇二代表）が白石川支流の土手川で行われました。この催しは、子どもたちに地区内を流れる小川に生息する生物を調べて、自然環境の大切さを体感することを目的に開催されたもの。この日は同地区の小学生など約30人が参加しました。子どもたちは、土手川の水質や水温、流れの速さなどを調べた後、ハヤ、ドジョウ、スジエビ、カワゲラ、タニシなどたくさんの生き物を採取。「意外と大きな魚もいることがわかりびっくりしました」と話してくれました。



▲網に手に川に住む生き物を捕まえる子どもたち

スポーツを通じて交流を深める

少年野球交流大会 & 少年サッカー大会

7月30日、「海老名市・登別市・札幌市白石区・白石市少年野球交流大会」を益岡公園野球場と白石川緑地公園野球場で開催しました。この大会は、海老名市との姉妹都市親善少年野球交流大会が今年で25周年の節目を迎えることから、登別市、札幌市白石区を交えて開催されたもの。この日は、各市区から選抜された選手約60人が

参加し、真剣勝負を繰り広げました。また、8月6日には「登別・海老名・白石少年サッカー大会」を白石川サッカー公園で開催しました。各市から選抜された選手60人が参加し、好プレーを見せていました。両大会とも、試合の前日には、対面式や歓迎交流会が行われるなど、試合以外でも楽しく交流し、親睦を深めていました。



1_選手宣誓をする白石ヨッシャーズ渡辺くん 2・3_攻撃でも守備でも全カプレーの選手たち 4_試合後、健闘を称え合う白石市チームと海老名市チーム 5_フェアプレー宣言をする大平SSS斉藤くん（中央） 6・7_華麗なドリブルやヘディングシュートが決まる！

小原の夏の風物詩

第13回夏の検断屋敷まつり

8月7日、「第13回夏の検断屋敷まつり」が材木岩公園で開催されました。ここ数年、雨天のため開催されておらず、今回、3年ぶりに開催。市内外から多くの方が来場しました。まつりは大鷹沢子ども太鼓のステージでスタート。来場者たちは、検断屋敷まつり恒例のだるま落とし競技やウッドボウリング大会など、来場者参加型のアトラクションを楽しんでいました。そして、この「夏の検断屋敷まつり」といえば水中スイカ割り大会！観客から「もっと右…そこ！」などの声援が飛び交い、参加者と観客が一体となって楽しんでいました。



▲水中スイカ割り大会。一振りごとに歓声が沸き上がりました

プランターに感謝の気持ちを込めて

南中学校で花いっぱい運動

7月21日、南中学校の3年生21人が、日ごろお世話になっている地域の人たちに感謝の気持ちを伝えようと、学区内の越河・斎川地区の一人暮らしの高齢者宅などを訪問。6月中旬から大切に育ててきたマリーゴールドのプランターと、感謝の気持ちをつづった手紙を手渡しました。生徒たちは「いつも見守っていてくれてありがとうございます。この花を見て、元気を出していただけたらうれしいです」などと声を掛け、プランターをプレゼント。受け取った地域の方は「花だけでなく、手紙までもらってありがとう」と笑顔で話していました。



▲大切に育てた花を手渡す南中学校3年生の皆さん

うーめんを好きになってね

きちみ製麺が市内全園児に温麺をプレゼント

8月5日、株式会社きちみ製麺（吉見光宣代表取締役社長）が市内全保育園児に白石温麺をプレゼントしました。この日は、越河保育園で贈呈式が行われ、吉見社長が園児全員に温麺を手渡しました。園児たちは、お礼に「白石うーめん体操」などを披露しました。吉見社長は「奥州白石温麺振興条例が制定されて以降、企業側からPR活動がされていなかったの、やってみようと思いました。もっと温麺を広めて、子どもたちにも温麺を好きになってもらいたいです」と話してくれました。8月中旬には、市内全幼稚園児にも届けられました。



▲吉見社長たちと一緒に「白石うーめん体操」を踊る同園の園児たち

県境を越えて事故防止を呼びかける

夏の交通事故防止県境作戦を実施

7月20日、市内国道4号斎川パーキング内で、夏の交通事故防止「みやぎ・ふくしま」県境作戦が実施されました。これは、夏季の交通事故多発時期に、宮城・福島県境を管轄する白石警察署、福島北警察署などが連携し、通行車両に事故防止を呼び掛けたもの。当日は関係者のほか、片倉甲冑武者やスマイルピーチキャンペーンなども参加し、ドライバーに両県民の交通安全への思いを真心込めて届けていました。また、9月21日から30日には、「秋の交通安全県民総ぐるみ運動」が実施されます。皆さん、安全運転を心掛けましょう。



▲ドライバーへ交通安全を呼びかける甲冑武者とスマイルピーチ